

第16回 大阪呼吸ケア研究会

拝啓 皆様方におかれましては時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第16回大阪呼吸ケア研究会を下記の通り開催致します。今年度は、在宅酸素療法の保険適用後20年目となる事から、テーマを『在宅酸素療法 今後20年の展望 -日常管理と危機管理-』としました。呼吸ケアに関わられる各職種の方々の、積極的なご参加と活発なご討論をお願い申し上げます。

敬具

記

- 日 時： 2006年2月18日(土) 14:00~18:00
- 会 場： 大阪商工会議所7階 国際会議ホール
大阪市中央区本町橋2-8 TEL 06(6944)6550
- 会 費： 参加費 1,000円
- 申 込： 参加自由・事前申込不要

1) 開会の辞 14:00~ 代表世話人 木村 謙太郎

2) 基調講演 (講演30分、質疑10分 14:05~14:45)
座 長 結核予防会大阪病院 榎野 富彌
「呼吸ケアの成り立ちと課題」 富田林市ケアセンター施設長 木村 謙太郎 先生

3) 一般演題 (発表7分、質疑3分 14:45~15:25) 座 長 大阪市立大学医学部附属病院 金尾 顕郎
刀根山訪問看護ステーション 長濱 あかし

- (1) 「在宅長期NIPPV患者の肺機能の検討」 相川病院 松田 敏宣
- (2) 「NIPPV下に運動トレーニングを施行した肺結核後遺症の1症例」
国立病院機構刀根山病院 リハビリテーション科 山本 洋史 平賀 通
同 内科 前倉 亮治
- (3) 「レティナ自己管理成功を機にスムーズに退院をむかえられた事例」
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 平松 由美子
- (4) 「アロマセラピーによる呼吸器疾患患者の効果の検討」
近畿大学医学部堺病院 手柴 啓子 大宅 志穂
有吉さやか 中山 咲子
渡辺 溢子

※座長報告「呼吸リハビリテーション分科会」活動について

◎コーヒーブレイク (15分 15:25~15:40)

4) 要望演題 (発表 65分、全体質疑 15分 15:40~17:00)

『HOT患者の危機管理』 座 長 楠薫堂医院 栗山 隆信
N T T西日本大阪病院 相谷 雅一

- ・「在宅呼吸ケア白書 -HOT患者アンケート調査結果-」
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 石原 英樹 先生
- ・「災害への備え-専門家として医療人として考えておくべき義務-」
兵庫県災害医療センター 副センター長・災害救急医療情報指令センター室長 中山 伸一 先生
- ・座長報告-「大阪府下におけるHOT患者危機管理の現状」(アンケート結果より)-
- ・「災害時の緊急対応-HOTプロバイダーの役割-」
帝人在宅医療東日本 新潟営業所 大山 幸雄 所長

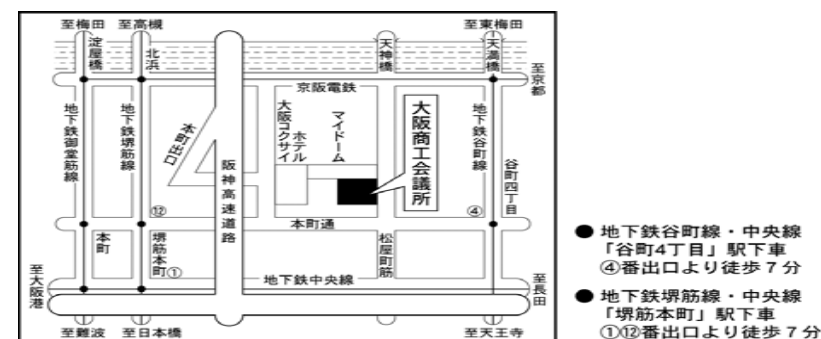
5) 特別講演 (講演40分 質疑10分 17:00~17:50)

座 長 岸和田市立岸和田市民病院 加藤 元一

『HOT患者の呼吸管理-こんな間違い、勘違い、していませんか?-』
北海道大学医学部保健学科 教授 宮本 顕二 先生

6) 閉会の辞 当番幹事代表 加藤 元一

(会場案内図)



共催 大阪呼吸ケア研究会

- 【代表世話人】 木村謙太郎 (富田林市ケアセンター)
- 【当番幹事代表】 加藤 元一 (岸和田市立 岸和田市民病院)
- 【当番幹事】 相谷 雅一 金尾 顕郎 栗山 隆信 長濱あかし 榎野 富彌
- 【世話人】 浅岡 和正 網谷 良一 五十嵐 敢 石田 京子 石原 英樹 伊藤 正己
井上美由紀 上田英之助 大井 元晴 大野 啓文 加古 史江 金森 葉子
川崎美栄子 北 英夫 栗原 直嗣 黒田 修 小林 武彦 坂谷 光則
鈴木 幸子 高沢 洋子 高田 實 谷尾 吉郎 土居 洋子 東田 有智
長坂 行雄 西本 勝夫 坂東 憲司 平田 一人 福井 基成 藤井 宏匡
藤原 寛 本田 憲胤 前倉 亮治 舩谷 仁丸 松尾 善美 村尾 仁
安場 広高 山本 洋史 若山 俊明 脇阪 靖美
- 【事務局】 相谷 雅一 (N T T西日本大阪病院 内科(呼吸器))
〒543-8790 天王寺郵便局留 大阪呼吸ケア研究会事務局

共催 帝人在宅医療関西株式会社

※ 当研究会は大阪府医師会の生涯教育講座の認定を受けております。